

復興の槌音



国道288号三春西バイパス (郡山市西田町木村地内～三春町大字貝山地内)

1. はじめに

一般国道288号(起点:郡山市 終点:双葉町)は隣接する生活圏を相互に結ぶ地域連携道路としてふくしま道づくりプラン(復興計画対応版)ではふくしま復興再生道路に位置付けされており県中地域と双葉地域をつなぐ復興を支援する道路として早急な整備が必要となっています。

三春西バイパスは、郡山東バイパスと三春バイパスの中抜きの区間を整備する事業であり、田村地方と郡山市街地の連携強化、高速道路へのアクセス向上、三春町内の渋滞緩和を目的とした延長3.5kmの2車線のバイパス事業です。

平成25年5月23日に暫定2車線で全線供用を開始しました。



2. 事業内容

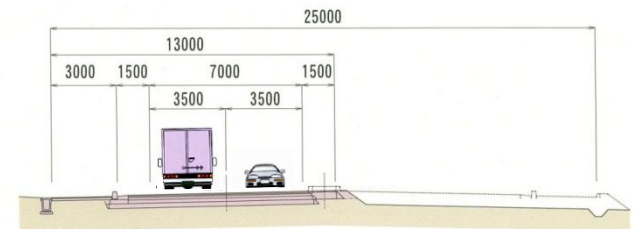
- ・全体延長 L=3.5km
- ・道路規格 第3種第1級 設計速度V=60km/hr
- ・計画幅員 W= 7.0(13.0)m(暫定2車線)
W=14.0(25.0)m(完成4車線)
- ・全体事業費 約82億円(暫定2車線)
- ・事業年度 平成9年度～平成25年度

主な構造物

橋梁4橋(みはる岩江橋 雪村大橋 三春大橋 きぼう橋)
ボックスカルバート6基



暫定2車線標準断面図



3. 期待される整備効果

- ・三春・田村方部から郡山市街地や高速道路までの所要時間が短縮されます。
(国道4号から三春町熊耳地内の約15km区間について、現道通過に対してバイパスを活用すると約7分の短縮)
- ・交通分散により、三春市街地の渋滞が緩和されます。
- ・緊急時の代替路を確保することで、災害に強い道路 ネットワークが確保されます。



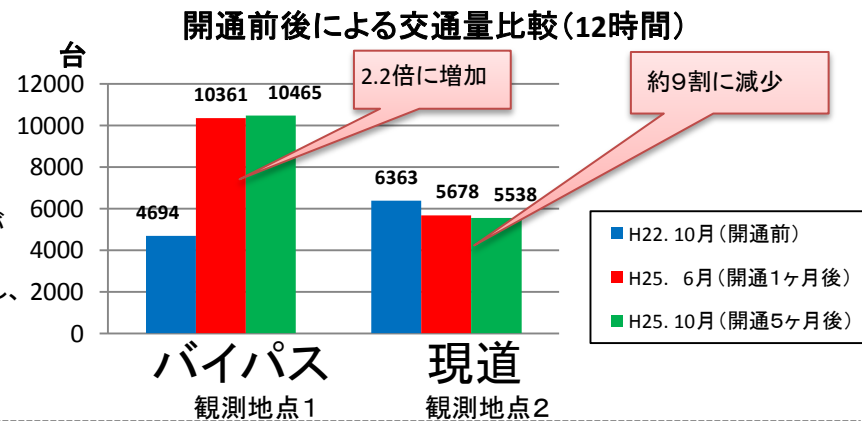
4. 検証



全線開通1ヶ月後に交通量を調査しました。

- ・バイパス(観測地点1)で、開通前の**約2.2倍**に増加
- ・現道(観測地点2)で、開通前の**約9割に減少**

また、開通5ヶ月後の調査においても、その傾向が継続していることを確認しました。
以上の結果から、開通により利便性が大きく向上し、利用者が大幅に増加していることがわかります。



5. おわりに

実際に走行してみると、郡山と三春・田村方部の所要時間は開通前と比較して10分ほど短縮し、また、現道においてはこれまでの混雑が見られなくなっていると感じられます。

バイパスの開通により期待された整備効果が発現し、国道288号の復興を支援する道路としての役割はますます大きくなるものと考えています。

開通式は5月のさわやかな晴天のもと、知事が出席し行われ、大田小学校児童による「きぼう橋」の合唱も開通に花を添えました。

最後に、事業に関係された皆様に対しここに感謝の意を表します。



佐藤知事らによるテープカット



大田小児童による「きぼう橋」合唱